

令和6年度 議会報告会

「市議会議員と話そう」での意見に基づく提言書

～自分の気持ちを市政に反映しよう～
袋井商業高等学校・袋井特別支援学校

令和6年11月

袋井市議会

広報広聴委員会

1 はじめに

市議会では、議会の活動状況を市民に報告するとともに、市政の諸課題に対処するため、市民の皆さんと議員が意見及び情報を交換する議会報告会を平成25年度から開催している。

また、令和元年度からは、若い世代の意見を聞き、まちづくりの参考にすることや、議会に関心をもってもらうことを目的に、市内高校生との意見交換会を実施している。

本年度は、議会活動への理解を深めるとともに、高校生の考えるまちづくり等についての率直な意見をいただき、今後の社会を支えていく若者の意見を市政に反映すべく、9月に市内2校の生徒の皆さんと意見交換会を開催した。

2 意見交換会概要

(1) 開催場所、日時等

学校名	日時	開催場所 実施方法	生徒等	議員
袋井商業高等学校	9月17日（火） 15:50～17:00	学校3階会議室 ワールドカフェ方式	生徒24人（1～3年生）	9人
袋井特別支援学校 高等部	9月18日（水） 13:10～14:00	学校1階会議室他 グループワーク	生徒19人（2年生） 保護者5人	10人

※ 袋井高等学校は、12月に開催予定

(2) 開催内容

学校名	開催内容
袋井商業高等学校	①市議会の活動報告（議長による報告） ②意見交換 ワールドカフェ方式でグループ移動を行いながらの意見交換
袋井特別支援学校 高等部	①市議会の活動報告（議長による報告） ②意見交換 グループでテーマについて意見を出し合いまとめを発表

3 テーマの設定及び理由

(1) 袋井商業高等学校

ア テーマ

「若者が考える住みよい街づくり、魅力ある街づくり」

イ テーマ設定理由

自分たちが生活し、通学する袋井市が、より住みよく、より魅力ある街であるためにどうあるべきか、袋井市の将来を担う高校生の視点から街づくりを考え、対話することを目的に「若者が考える住みよい街づくり、魅力ある街づくり」をテーマに設定した。

(2) 袋井特別支援学校

ア テーマ

「住みやすい、生活しやすい、通学しやすい袋井市」

イ テーマ設定理由

今回の意見交換会に参加する2年生徒のほとんどが他市町在住で、毎日袋井駅から学校まで徒歩で通学していることから、生徒たちが日頃の通学を振り返って感じていることについて対話することを目的に「住みやすい、生活しやすい、通学しやすい袋井市」をテーマに設定した。

4 結果

主な意見

<袋井商業高等学校>

- ・道路をきれいにする ・公共施設を増やす
- ・飲食店や遊べる場所を増やす
- ・各世代が交流できるイベントを増やす
- ・観光地を増やす ・楽しめる施設、遊べるところを増やす
- ・伝統を受け継いでいく、地域の関わりを深める

<袋井特別支援学校>

- ・歩道を広くする ・歩道に雑草が生えていないとよい
- ・通学路を安全にする ・ヘルプマークの周知を図る
- ・防犯カメラを増やす ・通学路の草を刈る
- ・行事を通じた交流を図る

感想

<アンケート調査結果より>

- ・袋井市の魅力や改善点を考えてみて、直せそうなところが多くあり、少しずつ改善していけばより良くなりそうだった。

- ・他の人の意見を知ることができ、自分になかった考えを知ることができて楽しかった。
- ・若者も楽しめる施設を増やすことで、もっと袋井市が賑やかになると思った。
- ・議員の皆さんと話しができてよかった。

5 提言内容

意見交換での対話で出された多くの意見を参考に、短期又は中・長期で行政が取り組むべき内容を政策提言として取りまとめると次のとおりとなる。

<短期的なもの（令和7年度予算反映）>

(1) 地域の文化の継承

現代化が進み、私たちの社会生活の中では、伝統・歴史といった文化的な豊かさが薄れてきている。このため、あまり知られていない地域の伝統や歴史を、学校・地域・家庭で伝えていく取り組みを検討されたい。

【具体例】

小学校区に住むシニア世代が講師となり地域の歴史教室の開催など

(2) みんなにやさしいまちづくり

車社会の中で、車いす専用駐車場の利用マナーが守られていないこと、ヘルプマークへの理解がまだ不十分であるとの意見があった。

障がい者への理解は、制度が多種多様で、自分事として考える機会があまりないことなので、誰もが生活しやすいまちづくりのため、生活するうえで人にやさしくなれるような教育を進められたい。

【具体例】

ヘルプマークなどの制度を周知するための出前教室の開催など

(3) 通学路の環境整備

生徒が通学する道路には、草刈りが間に合っていないところがあり、通学に不便をきたしているという声や、道路に段差があり自転車で走りにくいなど、生徒の皆さんが通学時に気付いたことや感じたことが多くあった。このため、日々の道路管理を適正に行うとともに、道路上の管理で気付いた点をタイムリーに伝達できるような、LINE等の既存のSNSを活用するなど、若者にも手軽に使える通報システムの構築を検討されたい。

また、道路の環境整備は、通学する生徒のみならず地域の皆さんの住環境に関わることであることから、地域・学校などが協力することで快適に通行できる道路管理策の構築を検討されたい。

【具体例】

- ・ LINE などを活用した、市民意見ポストシステムの導入
- ・ 通学路の定期的な草刈りの実施
- ・ セントラルパーク構想における遊水池公園の整備と併せた歩道の整備
- ・ 小学校区単位で、学校・地域・企業などが参画する座談会の開催など

< 中・長期的なもの（２、３年かかる内容） >

(1) 回遊性の高い都市形成

ア 市内には、若者が気軽に集まれる場所がないことから、買い物や飲食ができ、皆が集まって楽しめる施設を求める声が多くあり、SNSが普及し出かけることなく情報が得られる時代にあっても、多くの生徒が皆で集まる場所を求めていることが分かった。このことから、交通網が充実し、セントラルパーク構想など新たなにぎわいが創出される駅南地区も含む袋井駅周辺地区において、特に若者のニーズをとらえた街づくりの推進を検討されたい。

イ 若者が関心を示しやすいキャンペーンやハッシュタグを通じて情報拡散を促進するなど、SNSを用いた“地域の魅力”や“店舗の情報発信”を強化するとともに、インフルエンサーの協力を得て、既存店舗や新規店舗の注目を集める仕組みづくりを検討されたい。

(2) 誰もが歩きやすい道路環境の整備

道路幅が狭く歩行者が安全に通行するのに不安がある場所は、道路整備計画に基づき、歩行者も自動車も安全に通行できるよう、必要と思われる場所にはガードレールの設置などバリアフリーに配慮した対策を検討されたい。

6 おわりに

この提言書は、本年９月に開催した議会報告会「市議会議員と話そう」において、生徒の皆さんが、袋井市で生活又は市内の学校に通学をしている中で、日頃感じていることを意見交換でお聞きし、どうしたらよりよいまちになるか

を皆で考えていただき、その若者の考えを今後の市政に生かすために、広報広聴委員会としてまとめたものである。

意見交換の結果は、安心して通学できる環境整備や、皆が集まれる場所の必要性など、“きれいで安全なまち” “みんなが集まれる楽しいまち”を求める意見が多く、総じて多くの生徒が感じていることは同じ事柄であることがわかった。また、若者がどのようなことに興味を持ち、何を課題として考えているか参加者の中で共有することができ有意義な時間を持つことができた。

おわりにあたり、今回の意見交換における皆さんの意見から、若者が何を感じ、何を求めているかを提言にまとめることで、これからの袋井市を担う若者が「ここに住みたい」と思えるようなまちづくりに繋げられるよう望むものである。